

I. 次の楽曲はシューベルト作曲、弦楽四重奏曲op.161 第1楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①~⑧の音程を答えなさい。また、①~④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(音程)

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

(転回音程)

2. 次の(a) (b) で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。

(a) ⑦を下属音とする長音階

(b) ①を第VI音とする和声短音階

3. 次の(c) (d) で示される音階を、調号を用いず右の五線に主音から上行形で書きなさい。旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(c) ②を属音とする旋律短音階

(d) ⑤を導音とする長調の第III音を主音とする和声短音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)~(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。

- (1) 種類 \_\_\_\_\_ 転回形 \_\_\_\_\_ (2) 種類 \_\_\_\_\_ 転回形 \_\_\_\_\_  
 (3) 種類 \_\_\_\_\_ 転回形 \_\_\_\_\_ (4) 種類 \_\_\_\_\_ 転回形 \_\_\_\_\_  
 (5) 種類 \_\_\_\_\_ 転回形 \_\_\_\_\_

2. 次の文中の [ ] に調名を、《 》には関係調の名称を、( ) には和音の種類を書き入れなさい。

- a. (1)の所属する長調の《 \_\_\_\_\_ 》はイ長調である。  
 b. (2)をII度の和音とする調の平行調は [ \_\_\_\_\_ ] である  
 c. (5)を主和音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を同主調とする調の平行調は [ \_\_\_\_\_ ] である。

d. 和声短音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。

- I { \_\_\_\_\_ } II { \_\_\_\_\_ } III { \_\_\_\_\_ } IV { \_\_\_\_\_ }  
 V { \_\_\_\_\_ } VI { \_\_\_\_\_ } VII { \_\_\_\_\_ }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。

tempo giusto	
sostenuto	
cantabile	
Allegretto	
subito	
dolente	
pesante	

- 意味： 1. 気まぐれに 8. 自由な速度で  
 2. すぐに 9. なめらかに  
 3. 歌うように 10. 非常に  
 4. おどけて 11. Allegroよりやや遅く  
 5. 正確な速さで 12. 神秘的に  
 6. Allegroより速く 13. 悲し気に  
 7. 重々しく 14. 音の長さを十分に保って

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)~(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。

A \_\_\_\_\_

B \_\_\_\_\_

C (い) \_\_\_\_\_ (ろ) \_\_\_\_\_

(は) \_\_\_\_\_ (に) \_\_\_\_\_